

## キューバ情勢（2019年3月）

### 【概況】

#### 1 内政

- (1) ベカリ・スポーツ・体育・レクリエーション庁長官の更迭
- (2) 新憲法に係る人民権力全国議会特別会期の開催日決定

#### 2 外交

- (1) 米国によるヘルムズ・バートン法第三章の発効延長（一部を除く）に関する決定への拒絶
- (2) 日本政府により供与された廃棄物収集車の到着
- (3) 2018年の主なキューバ外交総括の発表
- (4) ベネズエラにおける大規模停電に関する米国への非難
- (5) ポンペオ米 국무長官による記者会見における発言に対する拒絶
- (6) 米国・カナダ外交官の健康被害事案に関する記者会見
- (7) マグラス・アイルランド障がい者政策担当国务大臣の来訪
- (8) 米国査証の有効期間の短縮に対する米国への非難
- (9) フェルナンデス・アルゼンチン前大統領の来訪
- (10) 藤村大使他の信任状捧呈
- (11) ヘルムズ・バートン法に関する米国総局長による声明
- (12) バルデス・メサ国家評議会第一副議長のアンゴラ訪問
- (13) ゴラン高原のイスラエル支配支持に関する外務省発表
- (14) チャールズ英皇太子の来訪
- (15) バルデス・メサ国家評議会第一副議長のナミビア訪問
- (16) チャップマン国家評議会副議長の南アフリカ訪問
- (17) モザンビークへの医療団派遣に関わる外務省発表
- (18) 新ベネズエラ大使の信任状写提出
- (19) ロシア・キューバ間の情報通信分野における覚書の署名
- (20) 日本の対キューバ無償資金協力2件の署名
- (21) チャップマン国家評議会副議長のレソト訪問
- (22) ディアスカネル国家評議会議長の第8回ACS首脳会合出席
- (23) ガルシア・エネルギー・鉱業大臣の訪露
- (24) 中国・キューバ間のバイオテクノロジー・医薬品分野における会合
- (25) ロシア・キューバ間の財政分野の協力における覚書の署名
- (26) 中国製列車車両の輸入
- (27) マガバーン米国下院議員の来訪

#### 3 要人往来

- (1) 来訪

## (2) 往訪

### 【本文】

#### 1 内政

##### (1) ベカリ・スポーツ・体育・レクリエーション庁長官の更迭

3月7日付共産党機関紙グランマは、国家評議会が、国家評議会議長の提案により、ベカリ・スポーツ・体育・レクリエーション庁長官を更迭することで合意したと報じた。

##### (2) 新憲法に係る人民権力全国議会特別会期の開催日決定

3月25日、国家評議会が開催され、新憲法を公布するための人民権力全国議会特別会期を4月10日に開催することを決定した。同時に、「2030年に向けた経済社会開発計画」の進捗を評価し、「経済社会政策方針」の導入状況を確認するための人民権力全国議会特別会期を4月13日に開催することを決定した。4月11日及び12日には、人民権力全国議会の各常設委員会が行われる。

#### 2 外交

##### (1) 米国によるヘルムズ・バートン法第三章の発効延長（一部を除く）に関する決定への拒絶

3月4日、キューバ外務省は、米國務省によって同日に発表されたヘルムズ・バートン法第三章の発効を一部を除いて4月17日までさらに30日間延期することを拒絶する旨の声明を発表した。また、同日、ロドリゲス外務大臣は、本件に対する批判を自身のツイッターに掲載した。

##### (2) 日本政府により供与された廃棄物収集車の到着

3月6日、平成28年度無償資金協力により日本政府が供与した廃棄物収集車24台がハバナに到着した。

##### (3) 2018年の主なキューバ外交総括の発表

3月6日、キューバ外務省は、同省ホームページにおいて、2018年の主なキューバ外交総括を発表した。

##### (4) ベネズエラにおける大規模停電に関する米国への非難

3月11日、キューバ外務省は、ベネズエラで発生した大規模停電は米国によるマドゥーロ政権に対するテロ行為である旨非難する旨の声明を発表した。

##### (5) ポンペオ米國務長官による記者会見における発言に対する拒絶

3月13日、ロドリゲス外務大臣は自身のツイッターで、ポンペオ米國務長官がベネズエラ情勢に係る記者会見を実施し「キューバはベネズエラにおける真の帝国

主義の権力である」と述べたことを拒絶した。

(6) 米国・カナダ外交官の健康被害事案に関する記者会見

3月14日、(外務省所管の)国際プレスセンターにおいて、フェルナンデス・デ・コシーオ外務省米国総局長は、内務省捜査員及び医療専門家らとともに、米国及びカナダ政府が報告した健康被害事案に関する調査結果について記者会見を行った。フェルナンデス・デ・コシーオ総局長は、「米国政府によって対外的に使用されている攻撃という言葉をもとに正当化する科学的調査結果も、説も、証拠も存在せず、(米国は)公的協議の場では攻撃の証拠が存在しないことを認めている」と話した。同総局長は、本件が米国による策謀という側面が大きく、外交官数の縮小、在米国キューバ外交官の追放、旅行客に対する注意喚起、ハバナにおける領事サービスの停止などの二国間関係を悪化する政策の言い訳に使われている旨指摘した。

(7) マグラス・アイルランド障がい者政策担当国務大臣の来訪

3月15日、ロドリゲス外務大臣は、アイルランドの国祭日である聖パトリックの祝日がキューバで初めて祝われた機会にキューバを訪問中のマグラス・アイルランド障がい者政策担当国務大臣と会談した。会談では、二国間関係及び共通の関心事項である国際情勢について意見交換が行われた。ロドリゲス外務大臣は、二国間関係の発展に向けたマグラス大臣の重要な貢献に謝意を表した。

(8) 米国査証の有効期間の短縮に対する米国への非難

3月16日、キューバ外務省は、在キューバ米国臨時代理大使によって3月15日に発表されたキューバ人に発給する米国査証の有効期間を5年間から3ヶ月に短縮することを拒絶する旨の声明を発表した。

(9) フェルナンデス・アルゼンチン前大統領の来訪

3月19日午後、ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長は、キューバを私的訪問中のアルゼンチン前大統領(現上院議員)と会談した。友好的な雰囲気で行われた会談では、最近の地域情勢について意見交換し、ラテンアメリカ・カリブ地域を平和地域として守る必要性について一致した。同会談の前日の18日には、ラウル・カストロ共産党第一書記が同前大統領と会談した。両会談には、ロドリゲス外務大臣が同席した。

(10) 藤村大使他の信任状捧呈

3月20日、藤村大使含む9名の大使が革命宮殿においてディアスカネル国家評議会議長に対し信任状を捧呈した。

(11) ヘルムズ・バートン法に関する米国総局長による声明

3月21日、キューバ外務省は、ヘルムズ・バートン法に関するカルロス・フェ

ルナンデス・デ・コシーオ米国総局長による概要以下の声明を発表した。

ヘルムズ・バートン法はキューバ国内では適用されない。なぜなら、同法は米国法であることから、その権限の及ぶ範囲は米国内のみであり、主権を有するいかなる国家にも適用されないからである。また、キューバの場合、「キューバ尊厳・主権再確認法」によって同法が違法であるとしている。同法は極めて幅広く複雑な法律で、最後に全ての目標を達成し革命政権を打倒した後、キューバの将来を決める計画も定めており、米国政府が任命する行政官によって革命政権の成果を解体する移行期間を設けるとしている。同法は、米国人もしくはその後米国籍を取得した者が、キューバによって国有化されもしくはキューバを去る際に放棄した資産の返還もしくは自身が決定する補償金の支払いを求めることを可能としている。さらに、同法は、完全なる返還もしくは補償が行われない限り、経済封鎖は解除されないと規定している。キューバは1960年に国有化された資産の補償を提案し、その後「キューバ尊厳・主権再確認法」を採択した1996年にそれを再確認し、米国政府との交渉を開始する用意があることを示した。この対象は、米国海外債権弁済委員会に認められた約5,903件である。ただし、この交渉は、米国の軍事攻撃、テロ、経済制裁によって引き起こされた物質的、心理的、人的被害に対するキューバ国家及び国民への補償についての議論と同時に行われるべきものである。キューバ・米国関係における課題は、キューバが主権国家でありキューバ国民がその主権を守り国の行く末を自らの手で決めるといふ強い意志を有していることを、米国が受け入れられないことである。

#### (12) バルデス・メサ国家評議会第一副議長のアンゴラ訪問

3月22日、バルデス・メサ第一副議長は、2月4日国際空港にてマヌエル・アウグスト外務大臣及びサルビアノ・デ・ジェズス・セケイラ国防大臣の出迎えを受けた。同日、バルデス・メサ第一副議長は、ジョアン・ロウレンソ大統領を表敬した。3月23日、バルデス・メサ第一副議長一行は、クイト・クアナヴァレにて1988年のクイト・クアナヴェレの戦い勝利記念式典に出席した。式典において、バルデス・メサ第一副議長は、キューバの名において一等勲功章を授与され、アンゴラ及び他のアフリカ国民が植民地主義からの解放闘争を支援した際にはいかなる謝意も望んだことはなかったと表明した。3月24日、バルデス・メサ第一副議長は、2月4日国際空港にて、セケイラ国防大臣、ドミンゴス・クストディオ・ビエイラ・ロペス外務省国際協力・アンゴラ共同体担当長官他の見送りを受けた。

#### (13) ゴラン高原のイスラエル支配支持に関する外務省発表

3月23日、キューバ外務省は、米国政府によるゴラン高原のイスラエルによる支配を支持するとの発表を非難する声明を発表した。

#### (14) チャールズ英皇太子の来訪

3月24日午後、チャールズ皇太子及び同夫人はホセ・マルティ国際空港に到着

し、アナ・テレシータ・ゴンサレス外務次官の出迎えを受けた。チャールズ皇太子及び同夫人は、その後、革命広場にあるホセ・マルティ像への献花を行った。3月25日、チャールズ皇太子はミゲル・ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長と会談した。温かい雰囲気の中で行われた会談では、両者は協力及び相互の敬意に基づく良好な二国間関係について意見交換するとともに、教育、保健、文化、環境保護及び持続可能な開発等の分野における関係強化の意志を有することで一致した。同日、ロドリゲス外務大臣は、チャールズ皇太子に同行してキューバを訪問しているアーマッド外務省英連邦及び国連担当閣外大臣と会談した。友好的な雰囲気の中で、両者は二国間関係について議論したほか、英国王室メンバーの初めてのキューバ訪問に表される良好な二国間関係を強調した。

#### (15) バルデス・メサ国家評議会第一副議長のナミビア訪問

3月24日、バルデス・メサ第一副議長は、ウイントフック国際空港にてネットウンボ・ナンディ＝ンダイトワ副首相兼国際関係・協力大臣の出迎えを受け、同大臣と意見交換した。3月25日、バルデス・メサ第一副議長は、サム・ヌヨマ初代大統領と会談した。同日、バルデス・メサ第一副議長は、ナンゴロ・ムブンバ副大統領とも会談し、協力・連帯関係を緊密化していく意志を再確認した。また、バルデス・メサ第一副議長は、ポハンバ前大統領とも会談し、保健、漁業、スポーツ、建設などの分野で活躍するキューバ人専門家と会談した。3月27日、バルデス・メサ第一副議長は、ハーゲ・ガインゴブ大統領と会談し、素晴らしい状態にある二国間の政治、経済、協力関係を確認するとともに、二国間問題及び国際情勢について意見交換した。同会談では、様々な分野で活躍する132名のキューバ人専門家による協力も評価された。同日、バルデス・メサ第一副議長は、サーラ・クーゴンゲルワ＝アマディーラ首相とも会談した。同日、バルデス・メサ第一副議長は、ウイントフック国際空港にてHilma Nicanor 退役軍人担当副大臣の見送りを受けた。

#### (16) チャップマン国家評議会副議長の南アフリカ訪問

3月24日、チャップマン副議長は、オリバー・タンボ国際空港に到着し、Thembelani W. Nxesi 公共事業大臣の出迎えを受けた。同日、チャップマン副議長は、フリーダム・パークにて開催されたクイト・クアナヴェレの戦い31周年記念式典に出席し、アフリカの解放のために戦い命を落としたキューバの英雄及び兵士に栄誉を表すために献花した。同日、チャップマン副議長は、バレカ・ムベテ国民議会議長と会談した。3月25日、チャップマン副議長は、シリル・ラマポーザ大統領、デービッド・マブーザ副大統領、Ace Magashule アフリカ民族会議事務局長及びJessi Duarte 同事務局次長と会談した。同日、チャップマン副議長は、Blade Nzimande 南アフリカ共産党(SACP) 事務局長兼運輸大臣、Solli Mapaila 同事務局次長及びReneva Fourie 同中央委員会政治局員兼書記局長等の幹部と会談した。3月26日、チャップマン副議長は、キューバが招待された南部アフリカ開発共同

体（SADC）による西サハラへの連帯のための国際会議に出席した。また、チャップマン副議長は、同会議のマージンで南アフリカ大統領府大臣、ナミビア、ジンバブエ、ウガンダ及び「サハラ・アラビア民主共和国」の大統領、レソト首相、アンゴラ及びセーシエルの副大統領、ナミビア、南アフリカ及びベネズエラの外務大臣とそれぞれ会談した。

（17）モザンビークへの医療団派遣に関わる外務省発表

3月25日、アナヤンシ・ロドリゲス外務次官は、サイクロン「イダイ」の被害からの復興に貢献するため、野戦病院及びその運営に必要な医療関係者の一団を26日にモザンビークへ向けて派遣することを発表した。ロドリゲス次官は、今回の医療団は、3月14日にモザンビークをサイクロンが襲った直後から活動している医療関係者36名を含む、372名の活動中の医療関係者に加えて行われるものと述べた。

（18）新ベネズエラ大使の信任状写提出

3月25日、キューバ外務省は、ゴンサレス外務次官が、チャベス駐キューバ・ベネズエラ大使から信任状写を受け取った旨の発表を行った。

（19）ロシア・キューバ間の情報通信分野における覚書の署名

3月25日、キューバとロシアの間で情報通信分野の協力を強化するための覚書が署名された。ゴンサレス情報通信省第一次官は、情報通信、情報技術産業及びサイバーセキュリティに係る覚書である旨述べた。

（20）日本の対キューバ無償資金協力2件の署名

3月26日、藤村大使とカリカルテ外国貿易・外国投資第一次官が、「青年の島における電力供給改善計画」及び経済社会開発計画に関する対キューバ無償資金協力の交換公文に署名した。

（21）チャップマン国家評議会副議長のレソト訪問

3月27日、チャップマン副議長は、マセルの国際空港に到着し、レセホ・マホツィ外務大臣の出迎えを受けた。同日、チャップマン副議長はマホツィ外務大臣と会談した。同日、チャップマン副議長は、レソトで活動するキューバ医療団メンバー及び医療、獣医、スポーツ医療、情報通信等を専門としてキューバで学んだレソト人専門家たちと意見交換を行った。3月28日、チャップマン副議長は、レツイエ三世及びトーマス・タバネ首相を表敬したほか、Sephiri Montanyane議長とも会談した。

（22）ディアスカネル国家評議会議長の第8回ACS首脳会合出席

3月28日、ディアスカネル議長は第8回ACS首脳会合に出席するため、アウ

グスト・サンディーノ国際空港に到着し、シッダールタ・マリン国際問題担当大統領顧問及びマルタ・ルイス国防大臣の出迎えを受けた。3月29日、ディアスカネル議長は首脳会合で演説を行った。

(23) ガルシア・エネルギー・鉱業大臣の訪露

3月28日、ガルシア・エネルギー・鉱業大臣はBorisovロシア副首相と会談した。両者は、エネルギー分野における両国間のプロジェクトについて意見交換した。

(24) 中国・キューバ間のバイオテクノロジー・医薬品分野における会合

3月28-30日、ハバナにおいてキューバと中国のバイオテクノロジー分野における第10回共同ワーキンググループ会合が開催された。直近15年の同分野における協力についてフォローするとともに、2019年から2021年までの計画について確認された。会合開会セッションにはモラレス国家評議会副議長、マルティネス・ビオクーバファルマ総裁他が出席した。

(25) ロシア・キューバ間の財政分野の協力における覚書の署名

3月29日、ロシアとキューバ間で財政分野における技術協力に係る覚書が署名された。

(26) 中国製列車車両の輸入

3月29日、Cubadebate（政府系ニュースサイト）は中国製の列車車両80両が2017年から2028年までの計画の内に輸入されると報じた。列車の快適性の向上や速度改善等が想定されている。

(27) マガバーン米国下院議員の来訪

3月30日、ディアスカネル議長はマガバーン米国下院議員と二国間関係について意見交換した。ロドリゲス外務大臣は、両者は「その他の共通の関心事項」についても意見交換した旨、自身のツイッターに投稿した。

### 3 要人往来

(1) 来訪

Pakishe Aaron Motsoaledi南アフリカ保健大臣

Finian McGrathアイルランド保健大臣

フェルナンデス・アルゼンチン前大統領

チャールズ英皇太子

マガバーン米国下院議員

(2) 往訪

ベラスケス教育大臣の赤道ギニア訪問

マレロ観光大臣の訪露

シルベラ法務大臣のオーストリア訪問

マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣のアルゼンチン訪問

バルデス・メサ国家評議会第一副議長のアンゴラ及びナミビア訪問

チャップマン国家評議会副議長の南アフリカ、レソト及びケニア訪問

ディアスカネル国家評議会議長及びロドリゲス大臣のニカラグア訪問

ガルシア・エネルギー・鉱業大臣の訪露